



校報

水糸者

No. 1261

元年度・第120号

今年もやっぱり大盛況!

図書委員会主催の

図書祭り



今年度の図書委員会（委員長・大谷未来さん）主催の「図書祭り」が昨日の3時間目に行われました。楽しいイベントが続き、子ども達の笑顔と歓声が体育館に響くととても良い時間となりました。



好きな本の紹介やゲームなど、楽しい催しが続きました。

図書祭りの最後を飾ったのは、本校が誇る図書ボランティア「レインボー」さんによる創作朗読劇『ばたばたとふうふう』でした。

すっかり変装し、役になり切りながら演じるレインボーさん方の『芸達者』ぶりは、子ども達への生きた手本ともなったようです。

種小が自慢とする図書ボランティア

「レインボー」さんと図書委員会の頑張り工夫で、種小っ子は本の楽しみを知り、どんどん本が好きになっています。



図書委員会のゲームも楽しみました。



この衣装や台本はいつの間に準備していたのでしょうか…。お見事!

『ばたばたとふうふう』の出演者一同で、ハイチーズ。

レインボーさん以外にも、本校職員2名と6年児童1名が芸達者ぞろいのレインボーさんに交じって熱演しました。



レインボーさんのコミカルな寸劇に会場は笑いに包まれました。



昨年度に放映されたNHKスペシャル「AIに聞いてみた。どうすんのよ!?ニッポン」では、『健康寿命』を伸ばすための秘訣を、AI（ひろし）に導き出してもらおうという内容の番組でした。多種多様な約600問に回答したのべ41万人のデータをAI（ひろし）が分析した結果は、健康は病気などの直接的な要因だけでなく、その人の食生活や趣味、家族関係、地域環境など、様々な要素が絡み合っているものであることが判明しました。その中でも健康のために大切と思われる運動や食事よりも、何と「読書が大事」という結果が出されました! 読書の効能などについては、校報1202号（7月22日発行）などにも掲載していますが、健康にも大きな影響を与える読書の習慣形成は、学校・家庭・地域・関係機関などが協力し合い、小学校のうちに必ず身につけさせていきましょう。

29日も種小っ子は活躍します！

久慈地区特別支援 合同学習発表会及び作品展示会



合同練習中の子ども達。ハッピーエンドの「泣いた赤おに」となりそうですよ。

29日(金)に、久慈市のアンバーホールで恒例の『久慈地区特別支援合同学習発表会及び作品展示会』が開催されます。

本校は昨年度同様、宿戸小学校との合同チームで参加し、名作「泣いた赤おに」を種市バージョンにしたものを演じてきます。

宿戸小の子どもと何度も練習を重ね、その上達した姿を昨日は低学年の子ども達の前で披露していました。久慈管内の4市町村から120名程の児童生徒が一生懸命に演じる姿は感動的です。本校の出演順は1番目ですので、9時40分頃の出番となりそうです。

はまなす学級在籍以外の保護者の方でも観賞できますので、どうぞご覧になってください。

第5回海洋教育こども サミットinひろの



29日(金)13時10分から、洋野町のセシリアホールで「第5回海洋教育こどもサミットinひろの」が開催されます。今回は町内の全小中学校の他、種市高校と大野高校、宮城県と山形県からの参加校を含めると、30校による「海洋教育」の発表となります。本校では6年生4人が「海との関わり～地球温暖化のなぞ～」と題しての発表をします。

なお、『総合的な学習の時間』の一環として、6年生全員がこの発表会に参加します。



…校内での発表練習の様子…

今まで実際に体験学習してきた、海での清掃活動や川での水中生物調査などから、気づいた事などを発信して来ます。

…ここにも素敵な「先輩」がいます！…

22日の「ようこそ、先輩」では、現役東大生の野口裕一郎さんの素晴らしい講演会がありました。

16日(土)には、子どもを支援する会が主催した「おかし遊びで楽しもう」が開催され、地域の方を『先生』に、いろいろなおかし遊びをしながら、参加した親子は楽しんでいました。

きれいに晴れ上がった秋の空のもと、五感を使ったおかし遊びに歓声が上がっていました。先日の「ようこそ先輩」で講演をした野口先輩だけでなく、種小には『支援する会』の種小っ子思いの素敵な『先輩』がたくさんいますね。素晴らしい事です！

